

## 室井佑月「お母さん、叱ってください」

AERA dot.



室井佑月（むろい・ゆづき）／作家。1970年、青森県生まれ。  
『小説新潮』誌の「読者による性の小説」に入選し作家デビュー。  
テレビ・コメンテーターとしても活躍。自らの子育てを綴った  
エッセー「息子ってヤツは」（毎日新聞出版）が発売中  
@拉犬

高校3年のあたしの息子は、真っすぐだ。馬鹿正直っていうのかな。あたしが今までつき合った男は、捻くれた男ばかりだったが、息子を育てているうちに、

（じつはあたし、そういう男が好きだったんだな）

と気づいた。

だって、母親は息子を自分の好みの男となるべく、誘導しながら育てていく。

アレが中学生のとき仲間とちょっとしたワルさをし、問題になったことがあった。担任の先生が、

「みんな目をつむれ。ワルさしたやつ、手を挙げる」

そういったら、ただ一人手を挙げたらしい。担任は、「そんな古典的な手に引かかるやつがまだいたんだ」といって笑っていた。

もちろん、正直にいったからといって、無罪放免にはならなかった。首根っこをつかまれ、職員室に連れていかれたそうさ。

ま、中学生にもなって、くだらないワルさ（あ、イジメとかじゃないから。つまらんイタズラ）をしたアレが悪いのではあるが、あたしはその話を聞いたとき、妙に誇らしい気分になったのも事実。

討論番組に出て、政権批判、権力者の批判などをすると、「文句あるなら対案を出せ！」などといわれる。あたしゃ、政治家じゃないし、そういうことをいわれる筋合いもないと思うが、じつはいわないだけで対案なんかとっくに出してる。

小狡く、可愛げのない男に息子を育てていないのが、あたしの対案だったりする。

今、ニュースを観ているとムカムカするじゃん。この国を仕切っている人々は、自分さえ良ければ、自分の立場だけ守れば、自分だけ儲ければ、自分さえ仲間内で良い顔できれば、バレなきゃどんなエゲツないことしても……そんなやつらばかりで。頭がそうだと裾野まで、そういう輩が多くなる。

なぜ、一国の中枢にまでのぼり詰めた人たちがそうなった？ 家柄か頭が、かなり良かった人たちである。どんな職業につくか、選べた人たちだ。

なんのために自分がその位置にいるのか、もっとも考えなきゃいけないそのことを、彼らは考えているのだろうか？

セクハラされて嫌だったという人がいるのに、なんで素直に謝らないの？ 国民に嘘をいつまでつきつづけるの？ 国の財産を仲間内で横流ししていいわけないだろ？ 権力の私物化が破廉恥だとなぜわからない？ カルト信仰みたいに崇拜者を作って、楽に生きようと思うんじゃないよ。可愛げない男たちだ。

彼らの母親は、なにを考え、こんな男を作ったの？

あなたは生まれながらにその他大勢ではない、と変な選民意識を持たせた？ 高級住宅に住んでハイヤーで移動したら勝ち組よ、そう教えた？

偉くなるのは目的のための手段であって、それが目的になっている男なんてくだらない。いらぬ、この世に。

誰が作った？ 親の顔が見てみたい。

※週刊朝日 2018年5月18日号

